



プログラム

- 13:00~13:05 開会の挨拶
鈴木 亨(県くらし・環境部長)
- 13:05~13:15 さくや姫サロンの報告
中田 明子 氏(株式会社NOKIOO)
- 13:15~14:15 講演会
「働きやすさをつくる！男と女のコミュニケーション術
～感性コミュニケーション 男と女の脳科学～」
黒川 伊保子 氏 (株式会社感性リサーチ 代表取締役社長)
- 14:40~16:00 分科会
- 16:10~16:20 分科会報告
- 16:20~17:00 交流会
- 17:00~17:05 掛川市挨拶
平松 克純 氏(掛川市企画政策課長)
- 17:05~17:10 閉会の挨拶
佐野 泰子 氏(さくや姫サミット 2018 作業部会 座長)
- 17:10~17:15 写真撮影

平成30年10月12日(金) 開場 12:30~
大日本報徳社 大講堂

参加人数

項目		女性	男性	計
全体		93	16	109
内 訳	講演会・その他への参加	2	3	5
	第1分科会 やっぱり管理職になろう！ ～県内管理職が本音でトーク～	28	3	31
	第2分科会 私らしく働くためのコミュニケーション ～伝える→伝わるスキルを身につける～	31	5	36
	第3分科会 働き続けるためのワーク・ライフ・バランス ～仕事も家庭もあきらめない～	32	5	37

企業・行政 紹介展示

大講堂通路で、企業と静岡県の紹介展示を行いました。

- 静岡県女性管理職の会 Advance Club
- (株)日本政策金融公庫
- (有)春華堂
- 掛川市
- 静岡県

さくや姫サロンの実施報告

ワークショップ型のセミナーを通して、女性活躍への意識の醸成や同じ立場の方々とのネットワークを広げる事業「さくや姫サロン」を6月から9月まで月末金曜 プレミアムフライデーに実施しました。

株式会社NOKIOOの中田さんが、さくや姫サロンのカリキュラムにや参加者の感想等を報告冊子を元に報告しました。



講演会

「働きやすさをつくる！男と女のコミュニケーション術 ～感性コミュニケーション 男と女の脳科学～」

講師：黒川 伊保子さん（株式会社感性リサーチ 代表取締役社長）

《講師紹介》



人工知能研究者、脳科学の見地から「脳の気分」を読み解く感性アナリスト。

「市場の気分」を読み解く感性マーケティングの実践者であり、「男女脳の気分」を読み解く男女脳論の専門家、「ことばが脳にもたらす気分」を読み解く語感分析の専門家でもある。人工知能(AI)エンジニアを経て、2003年、ことばの潜在脳効果の数値化に成功、大塚製薬「SoyJoy」のネーミングなど、多くの商品名の感性分析に貢献している。

脳の研究からくりだされる男女脳の可笑しくも哀しいすれ違いを描いた随筆や恋愛論、脳機能から見た子育て指南本、語感の秘密を紐解く著作も人気を博し、TV やラジオ、雑誌にもたびたび登場。アカデミックからビジネス、エンタメまで、広く活躍している。

黒川さんには、男性と女性の脳の違いによる、会話の仕方の違いなどを事例を取り入れながら講演をしていただきました。

まず、全てが二分されるわけではなく、男性脳を持つ女性や女性脳を持つ男性もいるが、“多くの男性が持つ傾向の脳を男性脳”、“多くの女性が持つ傾向の脳を女性脳”、と定義され、対話において、男性脳は問題解決のために会話を紡ぐ「ゴール指向問題解決型」、女性脳は話に共感してもらうことを求める「プロセス指向共感型」の傾向があるとご説明いただきました。例えば、「腰が痛い」というセリフに対して、女性脳を持つ人は「腰～？それは辛いね。」という共感をするのに対して、男性脳を持つ人は「病院へ行ったのか？」という問題解決に向けた会話をするというもの。女性脳の人との会話に共感することで女性脳の感じているストレス信号が半減するというお話や、男性脳への対話は、結論と項目から話すなど、コミュニケーションを円滑にするためのアドバイスをユニークなエピソードを交えてお話いただきました。

最後のまとめとして、「脳を人工知能に見立てた場合、男女の脳は、全く違う機能をもって、同時に別々の答えを出すために設計された並列プログラムであるので、ぶつかり合うのは当然なんです。ぶつかり合うことで最高のパフォーマンスを出し合っていくことができますよ。」とよりよい社会を作っていくために、男女それぞれが協力し合い、仕事や生活をしていくことについてのエールをいただきました。



分科会

《第1分科会 やっぱり管理職になろう！～県内管理職が本音でトーク～》

- 1 コーディネーター自己紹介
- 2 静岡県の女性管理職の現状
- 3 グループディスカッション

グループ内にいる管理職の参加者が、これから管理職となる参加者からの以下のような質問に対しての回答や体験談、思いなどを語っていました。

- ・管理職になった経緯は？
- ・管理職でよかったことは？
- ・管理職で大変だったこと？ など

管理職の魅力について「いろいろ試せる」「決定権が持てる」、管理職の苦勞について「前例がない」「人間関係の問題」など、さまざまな質問の回答に質問者は熱心に耳を傾けていました。

- 4 共有

グループディスカッションを終えて「もともと管理職になる意識がなかったが、管理職の話聞き、自分も機会があったらやってみてもよいと考えることができた」「身近に管理職が少ないため、貴重な機会となった」という管理職になることへの前向きな感想をいただきました。



《第2分科会 私らしく働くためのコミュニケーション ～伝える→伝わるスキルを身につける～》

- 1 コーディネーター自己紹介
- 2 参加者自己紹介
- 3 「私のコミュニケーションにおける課題」

個人ワーク→グループ共有→全体共有
コミュニケーションの課題として、「思いが上手く伝わらない」「相手の年齢や立場に応じた伝え方が難しい」などの意見がでました。

- 4 ワーク①「相手の頭の中で考えてみよう」

ペアワーク→気づきを全体共有

コミュニケーションは相手を知ることが大事！と

ということで自分と相手の共通項探しをするワークを行いました。ほとんどのペアが共通項を見つけ、共通項が見つかる嬉しく、相手に好奇心を持つことができることを実感してもらいました。

- 5 ワーク②「聴く・聴く・聴く」

ペアワーク→気づきを全体共有

話し手、聞き手に分かれて、傾聴体験を行いました。ペアで良い聞き手と悪い聞き手を演じ、その時の話し手の感情を共有しました。

- 6 全体振り返り

参加者からは「コミュニケーションは常に悩みなので、とても役に立った。」「コミュニケーションのヒントが見つかった。」「笑いもあり、楽しく参加させて頂きました。」などの感想が寄せられました。



《第3分科会 働き続けるためのワーク・ライフ・バランス ～仕事も家庭もあきらめない～》

- 1 コーディネーター自己紹介
- 2 興味のあるテーマごとにグループを作り、グループ内で自己紹介
- 3 ワークライフバランスについてそれぞれが抱える悩みを共有し、討論

「仕事のこと」「子育てのこと」「介護のこと」など、参加者それぞれが興味のある内容について意見交換を行いました。

「子育て」をテーマとして意見交換するグループでは、「子育てを女性に任せすぎて、追い詰めてしまっているようだ、どのように解決すべきか」という悩みに「早く帰宅して、家事をする」や「休みの日に、女性に自由な時間を作ってあげる」など様々な視点からのアドバイスをもらっていました。

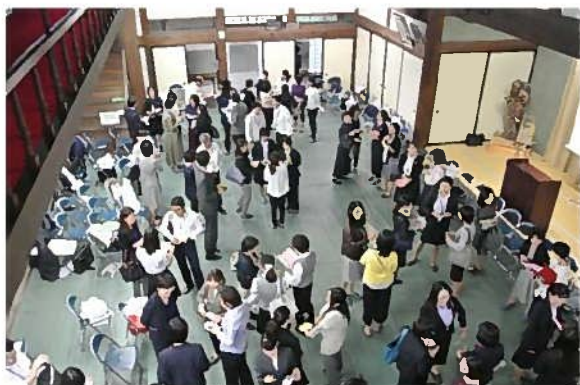
- 4 各グループの検討内容を全体共有

それぞれのグループの討論結果を発表し、「仕事でも介護でも普段の生活でも、人と人のコミュニケーションが最も大切であり、仕事と家庭（仕事と子育て、仕事と介護）いろいろなことをあきらめずに継続するためには、家族や上司をはじめ、周囲の理解と協力が不可欠である」ということが、全体で共有されました。



交流会

分科会の報告終了後、参加者同士が自由に交流できる場をご用意しました。みなさん、日頃の思いやサミットの感想などの活発な意見交換が行われました。



参加者集合写真



分科会コーディネーター紹介

*「ふじのくに さくや姫サミット 2018」の企画・運営に携わっていただいた皆さんです。

★第1分科会	佐野 泰子	株式会社ヤマハビジネスサポート (ふじのくに さくや姫サミット 2018 作業部会座長)
	鈴木 あゆみ	株式会社サンロフト
	藤澤 弘子	静岡県女性管理職の会 Advance Club しずおか信用金庫
★第2分科会	古宮 裕里子	有限会社 春華堂
	新妻 明子	三島信用金庫
	橋本 恵子	株式会社静岡第一テレビ経営企画局付 出向 株式会社DIプロ
★第3分科会	磯部 玲子	CENTOCOSE CO.LTD
	曾根原 容子	NPO法人 Woman'sサポート 有限会社 エス.
	野中 裕美子	Iwashin Working Lady's Club 朝日住宅株式会社

主催 静岡県／ふじのくに女性活躍応援会議

共催 (一社)静岡県商工会議所連合会／静岡県商工会連合会／静岡県中小企業団体中央会

(一社)静岡県経営者協会／(一財)静岡県銀行協会／(一社)静岡県信用金庫協会

静岡県中小企業家同友会／浜松経済同友会／(一財)静岡経済研究所

日本労働組合総連合会静岡県連合会／静岡県女性管理職の会 Advance Club

協賛 大塚製菓(株)／(有)春華堂／焼津水産化学工業(株)

